

# シリーズ学習会「5年目の福島～食と農の現場をつなぐ」

## 参加者の募集

### 1) 目的と内容

いま一度、福島のことをシリーズで学びませんか？



専門的な知識は必要ありませんので、広く多くの皆さんの参加をお待ちしております。

12月に、各学習会に参加していた皆さんを中心に、5年目の福島の問題についてどう向き合っていくかに関するシンポジウムを開催したいと考えています。

- キーワード書き出し作業  
分かったことや残った疑問の共有
- アンケート記入

#### 【主催】

北海道大学大学院農学研究院  
リスクコミュニケーションプロジェクト  
◆代表 小林 国之  
◆文科省  
リスクコミュニケーションの  
モデル形成事業 H26 年度採択

### 2) スケジュール

#### ◎シリーズ学習会 1 回目

日時 2015 年 8 月 4 日 (火) 12:30～15:30

会場 北海道大学農学部 食資源研究棟 3F セミナー室

課題 「農地と農作物はどうなったか」(東北農業研究センター・信濃卓郎さん)

#### ◎シリーズ学習会 2 回目

日時 2015 年 9 月 4 日 (金) 12:30～15:30

会場 北海道大学農学部 食資源研究棟 3F セミナー室

課題 「海はどうなったのか」(神戸大学教授・川井浩史さん)

#### ◎シリーズ学習会 3 回目

日時 2015 年 10 月 26 日 (月) 12:30～15:30

会場 北海道大学農学部 食資源研究棟 3F セミナー室

課題 「メディアは私たちにどう伝えたか」

コメンテーター：韓国江原日報記者・申ハリムさん

韓国江原大学教授・李ビョンオンさん

### 3) 募集要件

- 年齢・性別 18～40 歳代 男/女
- 職業 不問
- 人数 10～15 人程度
- 参加費 無料
- その他 3 回の学習会への参加とアンケートへ協力いただける方  
託児の準備をしております (0 歳～小学校中学年)

#### 4) 申し込み・問い合わせ先

○申し込み内容【氏名、年齢、性別、連絡先、託児・保育の利用有無】

なお、お申込みは、7月31日（金）までにお申し込みします。

○申し込み先

北大農学研究院リスキ職能教育プロジェクト（北大農学部 食資源研究棟 3F）

事務室 Tel&Fax 011-706-3868（吉田・堀）

E-mail [yoseikoy@vmail.plala.or.jp](mailto:yoseikoy@vmail.plala.or.jp)（吉田）

#### 5) シリーズ学習会の目的

学習会は人材育成の一環として取組むものであり、参加いただいた皆さんにアンケートを実施するなどして、人材育成プログラムの構築に向けた情報収集を図りたいと考えており、それらにご協力いただける方々を募集いたします。

シリーズ学習会の共通テーマは、「5年目の福島～食と農の現場をつなぐ～」であり、第1回目～第3回目にかけて専門家のお話を聞き、疑問に思ったことを意見交換し、アンケートも実施します。そして、第4回目に各学習会に参加していただいた皆さんと一緒に、5年目の福島の問題についてどう向き合っていくかに関するシンポジウムを開催します。専門的な知識は必要ありませんので、広く多くの皆さんの参加をお待ちしております。



この場は、  
皆さんにとって学びや意見交換の場であると同時に、  
私たちにとっても学びの場です。

#### 6) プロジェクト事業の概要

この学習会は、北海道大学大学院農学研究院における「リスキ職能教育プロジェクト」の一環として実施するものです。

本プロジェクトは、平成26年度から5カ年計画で文部科学省の事業採択を受実施するものであり、安全安心などを目指し、既存の食品リスクや健康リスク、農薬やバイオテクノロジーのリスクなど、1つのハザードに限定するリスク問題ではなく、複数の対象を多角的に扱い、各ステークホルダーらと共に共感を生むコミュニケーションの場を構築し、その定着を図ることを目的としています。

これらを通じて、リスクコミュニケーション能力を身につけた人材の育成、さらには適正・妥当な教育カリキュラムの考察、実践の場を通じた現場の人々への知識とリスクの地を開くことを目指しています。

以上